

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成27年5月7日(2015.5.7)

【公表番号】特表2014-509688(P2014-509688A)

【公表日】平成26年4月21日(2014.4.21)

【年通号数】公開・登録公報2014-020

【出願番号】特願2014-502887(P2014-502887)

【国際特許分類】

C 08 L 27/12 (2006.01)

C 08 K 5/25 (2006.01)

C 08 J 5/00 (2006.01)

【F I】

C 08 L 27/12

C 08 K 5/25

C 08 J 5/00 C E W

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月18日(2015.3.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

A) ニトリル基含有硬化部位モノマーの共重合単位を含むフルオロエラストマーと；
B) 一般式 $R^1OC(O)NHNHR^2$ のカルバゼート(式中 R^1 は 9 - フルオレニルメチル、ベンジル、アリールまたは複素環であり； R^2 は、H、アルキル、アリール、複素環、 CO_2R^3 または CH_2R^4 であり； R^3 はアルキル、アリール、ベンジルまたは複素環であり； R^4 はフルオロアルキル基である)と；

を含む硬化性組成物。

【請求項2】

請求項1に記載の組成物から製造される硬化物品。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

先行技術の組成物と本発明の組成物の体積膨潤度を比較するために、類似の、ただしカルバゼートではなく 0.25 phr の尿素を硬化剤として含む化合物から O リングを製造した。225 の水に対するわずか 168 時間の曝露の後、尿素で硬化された O リングは、15.7 % の体積膨潤度を示した。

本発明は以下の実施の態様を含むものである。

1. A) ニトリル基含有硬化部位モノマーの共重合単位を含むフルオロエラストマーと；

B) 一般式 $R^1OC(O)NHNHR^2$ のカルバゼート(式中 R^1 は 9 - フルオレニルメチル、ベンジル、アリールまたは複素環であり； R^2 は、H、アルキル、アリール、複素環、 CO_2R^3 または CH_2R^4 であり； R^3 はアルキル、アリール、ベンジルまたは複素

環であり；R⁴はフルオロアルキル基である)と；
を含む硬化性組成物。

2 . R²がHまたはC O₂R³である、前記1 . に記載の硬化性組成物。

3 . 前記カルバゼートが、9 - フルオレニルメチルカルバゼート；ジフェニルメチルカルバゼート；1 - (tert - プトキシカルボニル) - 2 - フェニルヒドラジン；フェニルカルバゼート；およびベンジルカルバゼートからなる群から選択される、前記1 . に記載の硬化性組成物。

4 . 前記カルバゼートの少なくとも1つの酸素原子が硫黄原子により置換されている、前記1 . に記載の硬化性組成物。

5 . さらに硬化促進剤を含む、前記1 . に記載の硬化性組成物。

6 . 前記1 . に記載の組成物から製造される硬化物品。

7 . 少なくとも168時間225 の水に曝露した後ASTM D1414にしたがって測定した体積膨潤度が5%未満であり、ASTM D395にしたがって測定した300 、70時間、15%圧縮での圧縮永久歪が70%未満である、前記6 . に記載の硬化物品。